

# 特別栽培米「奥出雲千石米 コシヒカリ」栽培ごよみ(飯南)

月日	4月					5月					6月					7月					8月					9月																			
	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25															
生育段階・区分	育苗					活着					有効分けつ					無効分けつ					幼穂形成 穂ばらみ					登熟																			
水管理	播種					田植え															出穂期					成熟期																			
技術内容	<p>◎健康な苗づくりを！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・堆肥施用 深耕 稲わら腐熟</li> <li>・できるだけ外気温にならして健苗育成</li> <li>・硬化期は温度管理に注意しながら</li> <li>・薄まきの励行(乾籾100g/120g/箱)</li> </ul>					<p>◎元肥は控えめに！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有機物多用田では減肥</li> </ul>					<p>◎植え付けは適正に！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体系処理による効果的除草</li> <li>・いもち・虫予防に箱施薬</li> <li>・植付け株間は23cm程度</li> <li>・一株植付け本数 三々四本</li> </ul>					<p>◎水管理の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中干しへ一株二〇本以上になった頃</li> <li>・作溝の実施</li> </ul>					<p>◎葉色・茎数をみて生育に応じた施用を！！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出穂前二五日・幼穂長約〇・五mm</li> <li>・有機質肥料のためやや早めに施肥</li> </ul>					<p>◎仕上げは万全に！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・稲いもち防除・カメムシ防除</li> </ul>					<p>◎適期刈り取り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適期後三〇日程度は間断かん水</li> <li>・カメムシ防除</li> </ul>					<p>◎網目一・九〇ミリ使用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水分一四・〇〜一五・〇%</li> <li>・適正な乾燥へ急激な乾燥は避けゆくりと</li> <li>・青味籾率一〇〜一五%</li> </ul>					<p>◎稲わら腐熟促進</p>				

## ◆施肥設計(10a当り)

粒状肥料体系 ( )内は、化学肥料由来の窒素量

肥料名	元肥	追肥	穂肥	成分量(kg)			
				窒素	リン酸	加里	苦土
生わら	全量						
堆肥	(※)1000						
リンスター30	10				3.0		0.8
こめ太郎くん	30			1.8(1.8)	4.5	2.4	0.6
珪酸加里プレミア34		10				2.0	0.4
みんなゆ〜き			20	1.4(0)	0.8	0.8	
合計				3.2(1.8)	8.3	5.2	1.8

一発肥料体系 ( )内は、化学肥料由来の窒素量

肥料名	元肥	追肥	成分量(kg)			
			窒素	リン酸	加里	苦土
生わら	全量					
堆肥	(※)1000					
リンスター30	10			3.0		0.8
すご稲有機355	30		3.9(1.95)	1.5	1.5	
珪酸加里プレミア34		20			4.0	0.8
合計			3.9(1.95)	4.5	5.5	1.6

ペースト肥料体系 ( )内は、化学肥料由来の窒素量

肥料名	元肥	追肥	穂肥	成分量(kg)			
				窒素	リン酸	加里	苦土
生わら	全量						
堆肥	(※)1000						
リンスター30	10				3.0		0.8
有機50ニューフレイバー10	30			3.0(1.5)	1.2	0.9	
珪酸加里プレミア34		20				4.0	0.8
みんなゆ〜き			20	1.4(0)	0.8	0.8	
合計				4.4(1.5)	5.0	5.7	1.6

(※)堆肥の施肥量については、土づくりの集積状況や土壌診断に基づいて決定する。

## ◆栽培での注意事項

注1	堆肥は、10a当り0.5t〜1tとするが、腐熟促進剤による稲わら、もみがらでも良い。
注2	土改剤は、含鉄資材を2年に1回散布する。その場合、根量が増え給肥力が増し、倒伏しやすいので、堆肥・元肥は減肥する。
注3	すご稲有機及びこめ太郎くんは、基準量の土30%の範囲内で、自己判断により増減しても良い。最高40kg/10a
注4	ニューフレイバーは、基準量の土30%の範囲内で、自己判断により増減しても良い。最高40kg/10a
注5	千粒重・整粒歩合向上のため、落水後の走水をする。(乾田では、落水から1〜2回、半日程度行なう)

## ◆土づくり資材

下記資材は、生産者の判断で使用しても良い。但し、化学チッソ2.75kg/10a以下を厳守する。

- 腐熟促進剤  
ワラックスール・豊土サングリーン・アグリ革命アクア
- 含鉄資材(10a当り施肥量)  
純鉄粉60kg・雲南土づくり土改剤60kg・ミネテツエース200kg
- リン酸質肥料  
リンスター30・苦土重焼燐・ファイトアップ
- 微量元素(出来の悪い所へ5kg/10a散布する)  
ミネラス・アグリエース・FTE
- 漏水田対策  
ペントナイトを0.7t〜1t/10a施用する

## ◆農薬使用基準(成分回数8回)

注1)〇内の数字は成分回数を表します。  
注2)農薬使用基準を正しく守りましょう。

種子消毒剤	特別栽培米の種籾は、無消毒種子を用い温湯種子消毒、又は、電解水処理等を行なう
育苗箱施薬	スタウトダントツ箱粒剤②
除草剤 AかBの選択	A:ピクトリ-zジャンボ②又は、ピクトリ-zフロアブル② 又は、ピクトリ-z1キロ粒剤② + アトリ1キロ粒剤① B:ピラクロフロアブル①又は、 ピラクロ粒剤① + セータワン1キロ粒剤① + アトリ1キロ粒剤①
本田防除	【出穂前】 アミスタートレボンSE② どちらか1回 トレボン粉剤DL① 【出穂後】 (カメムシ・ウンカ類) スタークル液剤10①又は、 スタークル粉剤DL①

◎除草剤は、水深10cmで施薬し、4〜7日間の湛水を維持する。1〜2日で水がなくなった場合は、静かに水を継ぎ足す。

## ◎除草剤説明

A	ピクトリ-Z: 初中期剤 田植後5日〜、ジャンボ剤、フロアブル剤、1キロ粒剤 アトリ: 中後期剤 田植後20日〜、1キロ粒剤
B	ピラクロ: 初期剤 植代後又は田植直後、フロアブル剤、1キロ粒剤 セータワン: 初中期剤 田植後5日〜、ジャンボ剤、フロアブル剤、(※)1キロ粒剤 アトリ: 中後期剤 田植後20日〜、1キロ粒剤

(※)セータワン1キロ粒剤は田植同時散布できます。